

2011年新年号

ほくし

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号

プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

年頭所感

大阪北区歯科医師会 会長 高麗 誠紀



明けましておめでとうございます。会員の皆様方にはご家族お揃いでお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年四月に六期十二年間務められた黒川森夫前会長のあとを受け、伝統ある大阪北区歯科医師会の会長職を引き継がせていただきましたが、あと三ヶ月の任期を残すだけとなりました。この間、黒川前会長が歴代の会長から引き継いで来られた路線を継承して参りました。

スローガンとして、



一、執行部一丸となった会員の方々のための円滑な会務執行
 一、明るく、活気ある歯科医師会の推進
 一、会内融和
 一、伝統の継承
 一、会外との緊密な連携

以上の事柄を念頭に置き、執行部一丸となって、意欲と情熱をもって会務に携わってまいりました。お陰様でこれまで大過なく諸事業を進めさせていただいておりますことを役員一同、心から感謝致しております。昨年を振り返りますと、四月の診療報酬改定では、歯科は二・〇九%アップと十年ぶりのプラス改定となりました。

このような成果は大阪府歯科医師会および同連盟が日本歯科医師会・同連盟に働きかけ早期に与党民主党支持を打ち出させた。その事が功を奏したと確信しています。

レセプトオンライン化において手挙げ方式を勝ち取ったことは、六十五歳以上の会員には救いとなったのは言うまでもないですが、若い会員にとっても単に猶予期間を得ただけで終わらずに、この成果を守り抜きたいものです。

また、連盟の話になりますが、七月の第二十二回参議院議員通常選挙では、日歯連盟が一昨年すでに自民党の公認候補を擁立していたのを白紙に戻し、西村まさみ候補を擁立し、与党民主に我々歯科医師会の代表を送り出すことが出来たのも会員の先生方の団結力の賜物です。

当会では選挙直前に、未入会問題の協議のためにすべての班で班会を開催していただきました。その際、開会前に黒川森夫府歯連盟副会長から日歯・府歯連盟の取り組み方について詳しく説明して頂いたお陰で、選挙に対する会員の士気が上がったと思われまます。

未入会問題はまだまだ結果が伴っては来ていませんが、西村まさみ議員誕生では先生方のご協力に心より御礼申し上げます。

さて、今年は当会の法人設立三十周年にあたります。公益法人制度改革に伴う問題も山積していますが、記念事業も企画しております。先生方のご協力を得て、成功裡に終えることを願っております。

今後当会の伝統である「和を以て尊しと為す」の精神をモットーに、会員相互が団結して協力し合い、大阪府歯科医師会のご指導を仰ぎながら、正しい時代認識のもと運営して参りたいと存じます。

そして、北区内での行政や医師会、薬剤師会、またデンタルファミリーである歯科技工士会、歯科衛生士会、更には関係諸団体ともこれまで以上に連携を密にして地域医療発展のため全力を尽くす覚悟であります。

どうか本年も旧に倍するご指導・鞭撻とお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

会員の先生方にとって今年が素晴らしい年になりますよう心から祈念致しまして念頭の挨拶とさせていただきます。

年頭所感

大阪府歯科医師会
会長 岡 邦恭

明けましておめでとうございます。会員の皆様、ご家族にとりまして、新しい年が実り多き、幸せの年となりますことを、心からお祈り申し上げます。

振り返りますと、一昨年には五〇年ぶりの歴史的な政権交代が行われ、民主党政権によって長きにわたった医療費抑制策が見直され、理不尽な社会保障費年二二〇〇億円削減が撤廃されました。そしてレセプトオンライン請求が実質手挙げ方式に改められ、昨年四月には一〇年ぶりの診療報酬プラス改定が行なわれるなど、懸案の諸問題が一気に改善の方向に動き出しました。政治の行方がこの先どうなるのかは見えませんが、国民の皆様方に良質な歯科医療を提供し続けるためにも、今年も国民生活に十分配慮された医療施策が進められることを期待いたします。

します。

さて、昨年七月の第二十二回参議院選挙におきましては、西村まさみ候補が短期間の選挙運動にもかかわらず見事当選を果たしました。

現在、西村まさみ議員は厚労委員会委員、予算委員会委員、そして幹事長補佐という要職にあります。これもひとえに大阪府歯科医師会関係各位の皆様方、とりわけ府歯会員の先生方の暖かいご厚誼とご協力のおかげであることより感謝いたしております。本当にありがとうございます。この事実は歯科医療界の前進に大きく影響を与えると確信しており、今年もこの燈を消すことなくさらに大きく拡げ、国民の皆様方に最良の歯科医療を提供できるように努めたいと考えます。

今年も私ども大阪府歯科医師会は、学術専門団体としての確固たる理念のもと、力強い提言と行動を続け、地域の皆様方の歯科保健医療サービスを守ってまいり所存でございますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

一方府歯会内におきましては、定款改正や、また三〇有余年の歴史を数える疾病休業補償制度の規程見直しなどをはじめ、諸課題に取り組んでおり、会員の皆様方がより一層安心して地域医療に専念できますよう努めております。

さて、平成一六年六月に開始いたしました、全国の歯科医師会で唯一の夜間緊急歯科診療所は、本年の六月一日で満七年を迎えます。昨年十一月末で三万九三六四名、一日平均で約一七名の緊急患者さんを受け入れ、府民の方々に安心と安全を提供致して参りました。昨年六月には、鳩山前首相と平野前内閣官房長官が表敬訪問されたおりに、夜間緊急歯科診療所の全貌をご覧になり、また三六五日間無休であることを耳にされ、鳩山前首相は「素晴らしい施設ですね、このような診療所が全国にあればいいですね」と述べておられました。これは等しく府歯会会員の喜びであり名誉でもあります。

大阪府歯科医師会は地域の方々と共に発展してゆかなければならない社団と考えます。我々は四四年にわたり障害者歯科診療を、三六年にわたり休日緊急歯科

診療を続けて参りました。

七年目を迎えた夜間緊急歯科診療と合わせ、府歯五六〇〇余の会員が心をひとつに協力し、一隅に一燈を照らす精神のもと、地域のため懸命に貢献をいたしております。このことは、政権与党や行政に提言を続けていく上で、大きな実績になるとともに、地域の活力ある展望を拡げていく一助になるものと確信しております。

残る任期も僅かとなって参りましたが、八〇有余年にわたり脈々と受け継がれてきた、社団法人大阪府歯科医師会の社会的使命を全うし、地域の皆様方の歯科医療を守るため、会員の皆様方のご指導とご支援を賜りながら、責任感と使命感をさらに高め、最後まで全身全霊を捧げて努力して参りますことをお誓い申し上げます。年頭のご挨拶にかえさせていただきます。



新年のご挨拶

北区長 福塚 秀彰



新年明けましておめでとうございます。新春を迎えるにあたり、皆様方のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げますとともに、日頃より区政の各般にわたり、格段のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

大阪北区歯科医師会会員の先生方におかれましては、北区の地域歯科医療の推進と地域住民の健康と福祉の増進に大きく貢献されていることに心から敬意を表する次第です。又、各種健診事業や「みんなの健康まつり」における歯科健康相談など、地域住民の健康保持と疾病予防を図り、広く区民の健康的な生活の確保に多大なご協力を頂いておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、大阪市では、健康増進計画「すこやか大阪21」を策定し、市民の

健康づくりを進めています。

北区役所におきましても、健全な食生活や運動習慣など、生活習慣の改善と区民の自主的な健康づくりを支援するため、乳児期、成人期、高齢期といったライフステージに合わせた健康づくり事業を進めています。

平成二十二年度からは、認知症の予防的活動の実践を通じて、区民の地域力を高め、認知症への理解を深めるとともに、地域で見守り支えあうしくみづくりを支援する「はつらつ脳活性化プロジェクト事業（認知症予防事業）」に取り組んでおります。

今後とも区民の皆様が安心して、生涯にわたって健やかに安心して暮らせるまち、ぬくもりとふれあいのあるまちの実現に努力してまいりますので、今後とも皆様のご理解とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

大阪北区歯科医師会のましますのご発展と皆様方のご健康、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のご挨拶

大阪市北区保健福祉センター
医務主幹 天津 弘二



お慶び申し上げます。

また、旧年中は保健福祉センターの保健衛生行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜りました事を厚く御礼申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。大阪北区歯科医師会の先生方におかれましては、すがすがしい新年をお迎えのことと心より

二十一年に達成いたしました。それでも全国に比べ約二・六倍と多く、さらに世界における罹患率の低い国よりは十倍多くなっております、更なる対策が必要な状況です。

近年、結核新登録患者における六十歳以上の方の割合は約五割、六割となっており、今後高齢者の比率はさらに多くなるものと思われ

ます。歯科医師会におかれましても高齢者歯科疾患の対策に力を入れておられますが、その際、受診者の結核早期

発見ならびに診療従事者の

方の感染予防のために、咳症状の続く患者さんがおられましたら、早めの受診をお勧めいただきますよう、よろしく願います。

大阪北区歯科医師会のますますのご発展と、高麗會長様はじめ会員の先生方のご多幸、ご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



卯年年男・年女

昭和
14年

26年

38年

50年



年男挨拶

13班 上田 祐嗣
(昭和14年4月4日生)



新年あけましておめでとうございます。

今年で六度目の年男を迎えることになりました。これ

まで元気で仕事も遊びも充実した日々を過ごすことができました。これもひとえに皆様のおかげと感謝しております。健康で丈夫な身体に産んでくれた両親に感謝、これまでいろいろな力になってくださった素晴らしい方々との出会いに感謝。

この先も前を向いて夢を持って生きていこうと思います。

今後ともよろしく願い申し上げます。

あるがままに生きる

11班 黒川 森夫
(昭和14年8月18日生)



古希を過ぎれば、もはや人生の黄昏だと言う人もいるが、私はどうしてもそのような心境にはなれない。それは、これまで健康に恵まれ、ものごと全てを楽観的に見る性分であるからかも知れない。

これからも人の温かい情に触れ、仕事を中心に興味のゴルフと木版画に興じ、

年男挨拶

4班 高麗 誠紀
(昭和26年5月27日生)



還暦を迎える心境は過去四度の年男の年とは違い、感慨深いものがある。

「赤ちゃんの唇に還り第二の人生を歩む」とよく言われるが、図々しく百二十歳まで生きようとは思わな

年男挨拶

7班 高畑 栄夫
(昭和38年1月20日生)



新年明けましておめでとうございます。

季節の移ろいが年々早く感じられ、あれだけ暑かった去年の夏の猛暑からあつという間にもう正月という感じですが会員の先生方におかれましては如何お過ごしでしょうか。

さて私は今年で4度目の年男を迎えるわけですが、そんな私が近年ハマってい

るのがマラソン。

私は数年前よりメタボ対策で始めた朝のジョギングがだんだんエスカレートして昨年には念願のフルマラソンにチャレンジすることができました。その日は二〇キロを越えたあたりから左足が攣りだしてそれをかばうと今度は右の足首に激痛がはしり、おまけに三〇キロを越えた辺りから雨が降り出し十一月の冷たい雨が気力と体力を奪う。

マラソンは山あり谷ありとよく人生にたとえられますが人生八〇年とすれば私は差し当たり二五キロ辺りでしょいか。マラソンも人生もここから正念場、騒がず焦らず一步一步確実に進んでいきたいと思う今日この頃である。

年男挨拶

11班 阪本 貴司
(昭和38年1月23日生)



新年おめでとうございます。

私は昭和六二年に大阪歯科大学を卒業しました。本年二〇一一年は、卒業二四年が過ぎた干支のちょうど

二巡目となります。弟の光伸（北区会員）と日々進歩する臨床とともに、充実した日々を送っています。

一昨年は父の義樹（北区会員）と義父の（三浦藤夫 阪大二三回卒）を見送る悲しい年でもありました。

その折は先生方には大変お世話になりました。ありがとうございます。

新しい年は気持ちが良いもので一年間はまだ白紙です。日々の診療に励めるのも、私をいつも支えてくれている家族と従業員のおかげです。皆さんへの感謝の気持ちを忘れずにがんばりたいと思います。

年男挨拶

4班 平井 泰

（昭和38年11月2日生）



あけましておめでとうございませう。前年男を迎えたのは当地で開院した翌年でした。あれから十二年改めて振り返ると、あつという間のようでもあります、公私ともに周囲の変化に戸惑うばかりです。当時まだ幼稚園へ通っていた長男も今春からは大学生（あくまでも予定ですが）になるかと思うと感慨深いものがあります。私の胸囲もすくすく成長し、立派なメタボ体型となり胆石が溜つてきたのも納得です。郵便番号は三ヶタから七ヶタになり、電話番号には「六」が付き、IT革命の名のもとにペーパーレス時代へと変わりつつあります。めまぐるしいテクノロジの進化が豊かで便利な生活を与えてくれた代わりに何か大切なものを忘れてきてしまったような焦燥感にふと襲われてしまっています。世の中本当に「諸行無常」ですね。ただそんな世の中でも家族の絆だけは「ガラパゴス」でありたいと願う今日この頃です。

年男挨拶

10班 山田 雅也

（昭和38年12月4日生）



皆様、愛歯梅田診療所の山田です。昨年は様々な事が国内外で起こったのではないかと

思います。特に政治では、民主党政権が発足して一年。何か歯科事情が良くなったかどうかを考えてみても厳しい環境には、一向に変わりなく毎日が過ぎていく様でした。しかしながら様々な政策が吟味され、発足に到るには時間のかかるもので、新年度は、歯科医療が今よりもとても明るく、希望に満ち、未来へ邁進する年になる事を切望いたします。本年もよろしくお願ひいたします。

年男挨拶

5班 江藤 賢治

（昭和50年4月21日生）



昭和五〇年四月二十一日生まれのうさぎ年、今年で三回目の年男を迎えました。一回目の年男を迎えたときは、小学生だったということもあり、年男という言葉の意味もよく分からず、うれし恥ずかしかったことだけを覚えています。この頃、元号が昭和から平成へと変わりました。ここからは学習の十二年でした。中学、高校と進学し、大学で

歯科医学と社会性を学びました。この頃、世の中はバブル経済の絶頂を迎えていました。

二回目の年男を迎えたときは、西暦二十一世紀を迎え、バブル経済はすでに崩壊し経済不安が高まっていました。ここからは探求の十二年でした。大学を卒業し、国家試験に合格し歯科医師となり、さらには専門課程（大学院）に進学しました。大学院在学時は歯科医学の道を探求するために研究と臨床に明け暮れていました。博士号取得後は社会人として、医療人としての人生の方向性を現実のものとして考えるようになりました。

今年、三回目の年男を迎えて、今までの三六年間は人生の先輩方が提供してくれた社会で生きてきたと感じています。次の十一年は、一社会人として世の中を牽引できるよう頑張っていきたいと思っています。



平成23年 新年互礼会開催

ヒルトンホテル
四階 金山の間

H23.1.15

HP



交流し楽しく時が流れていった。またたく間に夜が更け、大浦副会長の閉会のことばでお開きとなった。尚、来賓各位は次の通りであった。

（順不同敬称略）

一 月五日（土）、ヒルトン大阪四階 金山の間において、平成二十三年新年互礼会が、関係官公署および団体代表、議員の来賓を招き、八九名が出席し開催された。大塚専務理事が司会を務め、野口副会長の開会のことばで始まった。

高麗会長は新年の賀詞と参会への謝辞を述べた。続いて、太田謙司大阪府歯科医師会副会長に挨拶をいただいた。西本総務理事による来賓各位の紹介の後、福塚秀彰北区長、天津弘一北区保健福祉センター医務主幹、本出肇大阪府北区医師会副会長、美延映夫大阪府議会議員、吉田おさむ衆議院議員に祝辞をいただき、荒起秀多北区北薬剤師会会長の乾杯の音頭で乾杯して懇親会に移った。

昨今の厳しい社会情勢が続く中ではあるが、多くの会員が来賓や会員相互と和やかに

編集後記

本年もよろしくお願ひ申し上げます。（広報部）